

# 日吉川柳会

新記録 出してイチロウ 名を残す  
 新札を 嫁がポツケに そつとくれ  
 新入幕 横綱倒し 殊勲賞  
 新藁の 青あざやかに ベ飾り  
 新年も 生きてやるぞと 言う白寿  
 宝物 固い絆と 家族愛  
 宝焼酎 飲んで働く 父も古い  
 脳梗塞 以後はカタカナ 母の文  
 カタカナ語 辞典出して 間に合わず  
 カタカナ語 ふえてとまじう 爺と婆  
 カタカナ語 舌が回らず 一字抜け  
 カタカナの 母の手紙に 泣いた日も  
 丹精を 込めて修復する宝  
 枕元の 玩具は 孫の宝物  
 あなたとの 愛は宝と 秘めたまま

ヨリ子 照子 益恵 安隆 正念 忠昭 タケミ 中心 勝美 正志 麗子 智恵子 アヤ子 モモエ 貞子

# 広見短歌会

わが峡の野阜に守る五輪塔白く曝れたり花萩こぼす 武田 幸子  
 台風のすさびて過ぎし草むらに倒れし鬼灯色付きてをり 山本まつる  
 集い来て食後のくすり飲みあいぬ宿にくつろぐ遠き日の学友 須藤ヒサエ  
 針を刺す言葉返さず囁き反芻するも老の智慧かも 蛭谷 寿子  
 猫じやらし風吹くままにゆらぐなり揃ひてあれば心よりゆく越智 坂一  
 茶の間より研御前山仰ぎみて一人の遅き朝めしを食ふ 松下 啓脩  
 運動会雨の予報に小二の子部屋一ぱいにてるてる坊主 松崎 静香  
 会う毎にピアノの上達うれしくて二人の孫の帰り待つなり 伊手リツユ  
 弱き身を庇いつつ長き夏も過ぎ夫の掘り来し里芋を煮る 渡辺キヨ子  
 あちこちの曾孫の名前を呼びまぜて百才の母は幸せと云ふ 高田 治子  
 つわぶきの花暖かき陽をあつめ静かな午後の安らぎもてり 渡辺八千代  
 閉ぢこめて餓死せる蛙を葉につつまごめんねと云いて土に埋めやる 佐々木登美子



## 大きくなったら 三島小学校

